

在宅医療・介護連携推進事業：住民啓発（事例）

介護の日フェア（こうほうえん）

テーマ： ACP（アドバンス・ケア・プランニング）

～考えてみましょう・話し合ってみましょう～

日時： 平成30年11月14日（水） 13:00～14:00

場所： パレットとっとり市民交流ホール 参加者： 30名

【内容】 DVD「我が家に帰りたい」、パンフレット「さいごまで自分らしく豊かな人生のためのわたしたちの心づもり」、終活支援ノート「わたしの心づもり」を使ってのACP啓発。

（概要）

11月11日は「介護の日」です。こうほうえん介護の日フェアのイベントとして、推進室橋本がACPについてお話ししました。

DVDを活用して、元気なうちからもしもの時のことを考えたり話し合ったりしておくこと、自分のことを考えるのが難しい場合は、家族だったらどうしてあげたいか考えてみる。また、して欲しいことより、して欲しくないことの方が考えやすいのではとお話ししました。

ACPパンフレット、終活支援ノート「わたしの心づもり」を用いて、一人で考えるだけでなく家族等と話し合うことの大切さ、書き留めておくことは考え直すときに以前の思いが分かって考えやすいのでは、というお話しもしました。



【講師感想】

一般住民向けのイベントで参加者が様々でしたので、考えにくかったら「家族なら?」「して欲しくないこと」の方が考えやすいのではというアドバイスを交えてお話しさせていただきました。ACPを知るきっかけ、始めるきっかけになればと思います。

自身の親が高齢者で「終活支援ノートを使って話し合いたい」と言っていただいた若い参加者もおられました。高齢者だけではなく幅広い年代への啓発が必要だなあと再認識しました。

（講師：東部医師会在宅医療介護連携推進室・橋本渉）